					(Plan	】計画/	/ 【Do) 実施	苞									•		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要)成果指標(目	目標・実績)	I			成果の		H29年度	事業費	人件		安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施策名		王な事業・収組	所官謎名	7.33 33.23	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法寺)	局施策 評価	(課題に対する改善方法寺)
					市地方独立行政法人評価委員会における各事業年度に	目 標 — — — — — —	A (計画どおり) 研究、社会賞 献、管理運営分 野・4 (計画ど	A (計画どおり) 社会貢献分野: S (特筆すべき 進行状況) 研	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A						課長	0.70 人				
					ける各事業年度に 係る業務に対する 評価	(H25年度) 積	研究、社会貢献、管理運営分野: A (計画どおり)教育分野: B (概ね計画どおり)	死、管理連宮分野: A(計画どおり)教育分野: B(概ね計画どおり)			(毎年度)											
	1	公立大学法人北 九州市立大学運	企画課	公立大学法人の設置者 として、地方独立行政 法人法第42条に基要 き、業務運営に必要な 経費を交付し、法人の 業務運営の健全性を確		達成率	— %	— %				継続	2, 609, 113	2, 540, 939	維持	21, 800	係長	0.70 人	順調	第三期中期計画の実践に向け、引き続き公立大学法人北九州市立大学の健全な業務運営と教育研究の高度化・個性化、地域への貢献などを支援		
		営事業	砵	保する。		目 標 	単年度の 目標設定 なし	単年度の 目標設定 なし	単年度の 目標設定 なし	単年度の 目標設定 なし										で、地域への貢献などを文援する。 また、老朽化施設の改修 等、施設整備を支援する。		
I-2- (1)-② 大学など の教育研					市地方独立行政法人評価委員会における中期目標期間に係る業務に対する評価	A (H22年度) 実 績	_	_			A (H34年度)						職員	0.90 人			WE FO	引き続き公立大学法人北九 州市立大学の健全な業務運営 と教育研究の高度化・過生
の教育研 究機能の 充実					O E I IM	達成率	— %	— %									員	0.30 %			順調	化、地域への貢献などを支援する。また、助成制度については効果的な運用を推進する。
				市内の教育研究機能の		目標	7 件	7 件	7 件	7 件							課	0.10 人				
				充実を図るため、 充実を図るため、 の大学などに所属する 教員等が行う「アジア や北九州市の社会経済	調査研究助成金の 助成実績	10件 実績	10 件	8 件			7件 (H29年度)						長	0.10 人		調査研究助成対象事業の成		
	2	学術・研究振興 事業	企画	等の問題」及び「地域		達成率		114.3 %				継続	8, 885	8, 707	維持	4, 400	係	0.10 人	順調	果報告会を開催する等、研究 成果について客観的な評価を 行っており、その評価から調		
		争耒	課	調査・研究に対する助成(調査研究助成金)や、市内の大学等が連		標	5 件	5 件	5 件	5 件	05.81						IX			査研究活動の活性化を促すな ど、助成制度についてより効 果的運用を行っていく。		
				携して行う教育などの 取り組みに対する助成 (大学連携促進助成	大学連携促進助成 金の助成申請実績	4件 (H26年度) 績	4 件	9 件			25件 (H27~31 年度)						職員	0.30 人		WHITE GII I CO. CO		
				金)を行う。		達成家	80.0 %	180.0 %									貝					

					(Plai	n】 計画	/ [Do	2】 実施	苞									+		【Check】 評価	/ [Action】改善
施策番号	No	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価	iの成果指標(目標・実績)	I	1	I	成果の		H29年度	事業費	人件	費(目安	₹)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO.	主な事業・取組	所管課名	サ来・収祉恢安	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					市地方独立行政法 人評価委員会にお ける各事業年度に 係る業務に対する	A (H25年度)	(計画どおり) 研究、社会責 献、管理運営分 野: A (計画ど	A (計画どおり) 社会賞献分野: き研究・関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (毎年度)						課 0	. 70 人				
	3	公立大学法人北 九州市立大学運 営事業	企画 課	北九州市立大学都市政 策研究所での地域研究 プロジェクト、受託調 査を通じて、地域研究	評価	道成本	₹ — %		単年度の	単年度の		- 継続	2, 609, 113	2, 540, 939	維持	21, 800	係 長 0	.70 人	順調	第三期中期計画の実践に向け、引き続き公立大学法人北九州市立大学の健全な業務運営と教育研究の高度化・個性化、地域への貢献などを支援		
				の高度化を推進する。	市地方独立行政法 人評価委員会にお ける中期目標期間 に係る業務に対す	A (H22年度)	1 目標設定	目標設定なし	目標設定なし	目標設定なし	A (H34年度)									する。 また、老朽化施設の改修 等、施設整備を支援する。		
I -2- (1)-④ シンクタ					る評価	道成率	± — %	- %									職 0	. 90 人				北九州市立大学について は、引き続き健全な業務運営 と教育研究の高度化・個性
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の ・ ・ に の ・ に の ・ に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。					研究受託等の件数		11 件				10件 (H26年 度)						課 0	.10 人			順調	化・地域への貢献などを支援する。アジア成長研究所については、研究活動の成果を市民や企業へ還元するための広報活動の充実を図る。
	4	(公財)アジア	国際	本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、328%と	収入に対する研究受託収入の比率	H23年度 11.7% 率	表 7.5 %				10% (H26年 度)	<i>4</i> ην <i>4</i> ±	100 100	150,000	>− 4 ⇔∓	4.050	係。			市政及び企業活動に貢献に 司を基本ともしの開献する に受いる。 でを基本としいの開がで ででを基本としいの関がで でででである。 での関係が での関係が でのでである。 での関係が でのでのでは でのである。 でのである。 でのである。 でのでを でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがである。 でいるがではないるがである。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないる。 でいるがではないるがである。 でいるがではないるがである。 でいるがではないるがである。 でいるがではないるができない。 でいるがでいるがではないる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるが		
	4		課	盤の強化と地域への知 的貢献を目的とする活 動を行う(公財)アジ ア成長研究所に補助金 を交付する。	著名な学術雑誌へ の論文掲載数			4 本 4 本 100.0 %		5 本	5本 (H29年 度)	· 継続	160, 160	150, 000	減額	4, 650	係 0	. 20	順調	の研究会・報告会への外部参加希望者等に研究成果や研究体 活動の情報を随時、電子媒体で提供することなどで、地域に貢献できる研究機関をしてのPRに努め、広報活動の充実を図る。		
					科学研究費を含む 外部資金獲得数			6 件 100.0 %		6 件	6件 (H29年 度)						職 0	. 20 人				

			(Plan	1】 計画	Ī /	′ [D	o】 実i	施								•		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名 事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	評価の	成果指標(H26年度	目標・実績) H27年度	H28年度	H29年度	中期目標	成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	金額(千円)	費(目安) 職 人	H27年月 数 事業 評価	E H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
	_ 公立大学法人北	公立大学法人の設置者 として、地方独立行政 法人法第42条に基づ	市地方独立行政法人評価委員会における各事業年度に係る業務に対する評価	A (H25年度)		A (計画どおり) 研究、社会貿分 献、管理運営 新 (計画 ど おり) 野 : A (計画 ど 教育分野 : S (教刊画 ど 教育分野 : A (財) リ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社会貢献分野: S (特筆すべき 達行状況) 研 究、管理(計画) 野: A (教育分 野: B (切り 新し) 野: B (切り)		A (計画どおり)	A (毎年度)						課 0.70		第三期中期計画の実践に向 け、引き続き公立大学法人北 九州市立大学の健全な業務運 営と教育研究の高度化・個性	aT IIII	
	5 九州市立大学運営事業	課経費を交付し、法人の 業務運営の健全性を確保する。			目標	単年度の 目標設定 なし	単年度の 目標設定 なし	単年度の目標設定なし	単年度の 目標設定 なし		- 継続 -	2, 609, 113	2, 540, 939	維持 	21, 800	係 長 0.70	八 順調	化、地域への貢献などを支援する。 また、老朽化施設の改修 等、施設整備を支援する。		北九州市立大学については、引き続き健全な業務運営
I-2- (2)-3 アジアのと がを けると る人材の			市地方独立行政法人評価委員会における中期目標期間に係る業務に対する評価	A (H22年度)	達	_	_	_		A (H34年度)						職 0.90			順調	と教育研究の高度化・個性 化、地域への貢献などを支援 する。国際では、留学生と会 事業にこの情報交換や 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を 記述を
る人材の 育成 			留学生と地元企業の相互理解		成率目標	— % —		・ 単年度目標 設定なし	35.0 %							課 0. 20			-	開催などを通じた相互理解を 推進する。また、青少年国際 理解推進事業においては異文 化交流を通して青少年の国際 理解を推進する。
	6 国際ブリッジ人	ラス州の受入(ス字) 促進、学業・生活支援 及び地元企業就職促進 国際 を体系的 効果的に推	留学生等高度人材活用 の向上(企業との相互 理解が進んだ状態=留 学生が市内企業の情報 を4社以上知ってい る)	_	実績達成率	29.7 %				35.0% (H31年 度)								「北九州市留学生支援ネットワーク」において、講師招 明による先進事例の紹介や、 会員間の意見交換等を行い、		
	6 国際ブリッジ人 材支援事業	政策 進する「プラットホーム」を関係機関、民間 団体とともに設立し、地域のグローバル化や地域企業の国際競争力	図学生に対する 就	_	目標実	ニーズ把握	_	ニーズ 把握	ニーズ 把握		→継続	900	5, 712	増額	7, 550	係 長 0.30	人 順調	知識の向上や会員間の事業連携・情報共有を進める。また、留学生の地元定着を促進するための座談会等、新規取組を進めていく。		
		アップを図る。	ニーズの把握		達成率	把握 ————————————————————————————————————										職 0.30				
		外国人市民が安心して 暮らすことができる多			目標	45 %	50 %	50 %	50 %							課 0.05	; <u> </u>			
Ⅱ-3- (3)-① 多文化共 生社会の向けた体 の構築	7 多文化共生推進 事業	春らす生のまたがです。 を推生のまためると共生すると、生のまためると、生のまためるとは、生のでは、生のでは、生のでは、生がいた。 を推定がいたがいた。 を推定がいた。 は、大きなのでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またい	市民の「多文化共 生」という言葉の 認知度	43% (H25年 度)	実績	43.8 %	ъ́ 43.8 %			50%以上 (H27年度 ~)	継続	4, 646	4, 413	維持	3, 075	係 0.10	人 順調	会議のテーマごとに参加者 を選定しながら、国籍・職業 等、幅広い層からの意見聴 取・ニーズ把握に努める。	順調	多文化共生のまちづくりを 多文化共生のまちづくなを 明推進するため、様々なら 一層推進で外国人市民人市民 一点を把握し、外国人で の生活支援や各種施策にの多に がていくと共に、市民の に対する認知度を に対する。
		くための会議を、年2 回程度開催する。			達成率	97.3 %	5 87.6 %									職 0.20				

					(Plan	計画	/ [D	o】 実	施								•		【Check】 評価	/ [Action】改善
施策番号		基本計画の施策を構成する	主要事業	± 44. T- /11.10T TE		事業評価	の成果指標(目標・実績))			成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件費	費 (目安)	H27年	度 H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位人数	事業評価		局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
				日本語の不得手な外国 人市民へのサポートと L.て 行政機関や医療	外国人市民の生活 環境の向上 (多文化共生の現 状調査で は、カート	80.6% (H21年 報	`		単年度目は標設定な	単年度目標設定なし	H31年度 までに						課 0.05	_			
	8	多文化共生推進事業	政策	日本語の不得サポート は かり ト 医 で のの 機関 で がり と かり と	暮らしやすいと 回答)	度) 通		o — 9	6		80%	- 継続	4, 646	4, 413	維持	2, 325	係 0.10	人 順記			
		7.	課	図る。 また、多言語等でわか りやすい生活情報の提		長標	80 件	100 4	牛 100 件	- 100 件									実を図ると共に、多文化共生 の担い手づくりにつなげてい く。		
				供をすることにより、 外国人市民の安全・安 心な生活環境の整備を 推進する。	行政・医療通訳の 派遣件数	108件 (H26年 度)	108 件	- 74 (4	#		200件 (H31年 度)						職 0.10				
						适成率	ិ 135.0 %	74.0 9	%								貝				
Ⅱ-3- (3)-② 外国人市 民の生活 環境の充				日本語が不得手な外国 人市民に対して、地域		目標	制 単年度目標 製定なし	単年度目析 設定なし	票 単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし							課 0.05	Α	相談窓口等を通じ、外国人	順調	多文化共生のまちづくりを 一層推進するため、さらなる 広報事業の推進や潜在的ニーズの掘り起こしにより外国人 市民の生活環境の整備を推進
実	9	(公財) 北九州 国際交流協会補 助金	(公財) 北九州 国際 名情報を 国際交流協会補 政策 な媒体に 計金 課 とともに 孤立する	生活において必要となる情報を多言語で様々により提供するとともに、地域社会で孤立することなり	環境の向ト	80.6% (H21年 度)	79.7 %	<u> </u>			H31年度 までに 80%	継続	49, 450	48, 489	維持	2, 325	係 0.10	人順記	市民の生活等の課題やニーズ の把握とその対応に努めると 共に、日本人・外国人市民の 相互理解を促すための広報や 意識啓発を積極的に行ってい		していく必要がある。
				人と共生できるよう支援を行う。		道 月 辛	· / / /	,	6								職 0.10	_	< ∘		
				外国人にとって、住み やすい・住みたくなる 環境の敦備を進めるた	外国人市民の生活	巨槓		_	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし							課 0.05	٨	ニューカマーの増加に伴う		
	10	多文化共生による地域コミュニティ・エンパワメント創生事業	国際 政策 課	外国人にとける ではなるたい。 にはみを進成の ではの を構を が、 にて で で で で で で で で で で で で で で で で で で	環境の向上 (多文化共生の現 状調査で 暮らしやすいと	80.6% (H21年 度)		_			H31年度 までに 80%	_	15, 000	8, 000	減額	2, 325	係 0.10		言語や文化の多様化に対応するため、相談窓口・日本語習得環境を強化すると共に、外国人自らが活躍する力を伸ばすことにより、本市全体の活		
				躍することにより本市 全体の活力を向上させ る。	回 ii /	道成率	t – %	- 9	6								職 0.10		カ向上につなげていく。		

			(Pla	n】 計画		/ [D	o】 実	施											【Check】 評価	i /	【Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	・ 主要事業 所管課名 事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	美評価の	D成果指標 H26年度	(目標・実績) H27年度	H28年度	H29年度	中期目標	成果の 方向性		H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	金額(千円)	費(目安職	人数	H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容
	11 多文化共生推進	日本人市民に対し 多文化共生に関す 識啓発や国際交流 会や場の提供を行っ とで、外域づくりな	る意 の機 うこ うこ けれ 市民の「多文化共	43%	目標		6 50 9		6 50 %	6 50%以上						課長	0.10 人		引き続き、市民講座等で多 文化共生についての啓発事業 を行い、市民意識の向上を図		
	11 事業	政策 れるととが はいい もい で ととが 自る しい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(の 認知度 発揮 生先 まち	(H25年 度)	実績 達成率	97.3 9	6 43.8 9 6 87.6 9			(H27年度 ~)	継続	4, 646	4, 413	維持 	5, 650	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0. 30 人	順調	る。また、多文化共生に関する民間団体の活動等を支援することで、意識啓発を行っていく。		
п -3-		「多文化を受け入 世界に開かれた魅 る地域づくりと人 り」というビジョ	カあ づく ンの		目標	45 9	6 50 9	6 50 %	6 50 %	6						課長	0.05 人		引き続き、市民講座等で多 文化共生についての啓発事業 を行い、市民意識の向上を図		多文化共生のまちづくりを 一層推進するため、様々な機 会を通じて外国人市民からの ニーズを把握し、外国人市民
(3)-③ 市民の国際理解の 促進	(公財)北九州 12 国際交流協会補 助金	国際 さく 多文化共生 会び ともに、多文化共生 また 会が にい に ない	の社 ると 市民の「多文化共 民に 生」という言葉の を促 認知度 相互	43% (H25年 度)	実績	43.8 9	6 43.8 9	6		50%以上 (H27年度 ~)	継続	49, 450	48, 489	維持	2, 325	係長	0. 10 人	順調	る。また、多文化共生に関する民間団体の活動等を支援することで、意識啓発を行っていく。また、国際交流員を市民センターや学校、イベント	順調	の生活支援や各種施策につな げていくと共に、市民の多文 化共生に対する認知度を高め ていく。また、青少年国際理 解推進事業においては異文化
		め、国際平和に寄る開かれたまちづを推進する。	与す		達成率	97.3 %	6 87.6 9	6								職員	0. 10 人		等に派遣し異文化への理解仮 進に努める。		交流を通して青少年の国際理 解を推進する。
	<新>	米国姉妹都市から 問団受入など、異 交流体験を通じて 国際 少年の国際感覚を	文化		目標				70 %	80%以上						X	. 05 人		広報活動や啓発イベントなどによる「知識」の詰め込みだけでは、「多文化共生」の認知度がなかなか上がってし		
	13 青少年国際理解 推進事業	政策 し、国際理解を推 課 る事業の実施によ 多文化共生の意識 とともにグローバ 材の育成を目指す	進す の推進(アンケー り、 ト結果) 啓発 ル人	_	実績 達成率					(H31年 度)	_	_	1, 900	_	3, 075	反	. 10 人	_	ないのが実態であり、顔の見える国際交流の「経験」としう機会を提供することで、実体験を通じた国際理解を推進する必要がある。		
ш-1-		北九州市まち・ひ しごと創生総合戦 人口減少対策の重	北九州市への50歳以上の転入者前年度比増加数	_	率目標実績				100 A	_						=m	.00 人				
(1)-② 定住地域の性化の環り でもいるでは でもいるでは でもいるでも	14 定住・移住促進 事業	地方 柱の1つとして位 創生 ける「定住・移住	置づ│	21 14	達成率目標				50 件		_	_	50, 000	_	44, 000	係 1.	. 00 人	_	移住希望者や潜在的な移住 ニーズを持っている人へ、本 市での暮らしや移住に関する 情報、本市の魅力などについ て発信の強化を行う。	_	移住希望者や潜在的な移住 ニーズを持っている人へ、本 市での暮らしや移住に関する 情報、本市の魅力などについ て発信の強化を行う。
		ち」の推進等に向取り組むもの。	けて 別蔵以上の「北九州市すまいるクラブ」登録件数	31件 (H28年 12月)	実績 達成率					220件 (H32年 度)						職 3.	.00 人				

					(Plan	1】 計画	i /	[Do]	実施	5									4		[Check]	一	[Action] 改善
施策番号 施策名	No 基z	本計画の施策を構成する 主な事業・取組	5 主要事業	事業・取組概要		事業	評価の成果	指標(目標・	実績)				成果の		H29年度	事業費		費(目安	₹)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内		H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施策名	No.	主な事業・取組	所管課名	李未 ,从他似女	指標名等	現状値 (基準値)	H26	年度 H27	7年度	H28年度 H	29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
							目単年設定	度目標 なし 登	登録			74. 47						課しの). 30 人				
				ユネスコ世界遺産に登 録された官営八幡製鐵	世界遺産への登録	_	実 積	- 3	登録			登録 (H27年 度)						長	. 30 X		資産の価値を継承してい と共に、来訪者の満足度を	上丨	
	15 世	界遺産推進事	世界遺産	所関連施設について			達 成 率	_	_				- 継続	41 000	26, 200	減額	10, 950	係。). 30 人	大変順調	げ、観光資源としての付加値を向上させる。また、会 2周年を迎えることによる	*録 来	
			課	その価値の理解増進れため、来訪者とよりり、市内外へ向けた広報			目標	37.	5 人	3万 人 5		20 T a J		41, 000	26, 200		10, 930	長	7. 30 X	順調	訪者数の低下が懸念されるめ、新たな話題づくりやし ピーターを生む仕組みづく	たし	
				PR活動を展開する。	旧本事務所眺望ス ペースの来場者数	_	実績	577	5 人			20万人 (H28~ 31年 度)						職). 60 人		に取り組む。		
							達成率	166.	5.7 %			度)). 0 0 🔨				
							目標			調査の実施 診	断の実施							課し). 30 人				
				国や関係自治休 所有				\downarrow	\rightarrow			促全計画								-	国や所有者等等と連携し 建物調査・耐震診断をもと		
III-2- (1)-(1)	16 世産	界遺産登録資 保全活用事業	世界 遺産 課	国や関係自治体、所有 者等との連携のもと、 遺産価値の保全につと める。	登録資産の保全	現状把握 のための 調査継続	実績					保全計画 策定 (H29年 度)	_	34, 000	8, 100	減額	10, 950	係 長 0). 30 人	_	に、保全計画の策定を行う また、ユネスコに報告 (H29.12月) するため、例		構成資産の保全を行ってい
近産なは、遺のの継				₩, Ø °			達					(支)						職。		-	等進捗状況報告を作成する	大変 大変 順調	くと共に、関係機関と連携してインタープリテーション (理解増進・情報発信)の取
保存・継 承							成率											員 0). 60 人				組みを推進していく。
							目標			3万 人 5	5万 人	20 1											
					旧本事務所眺望ス ペースの来場者数	_	実績達					20万人 (H28~31 年度)). 30 人				
				本市の特色を活かしな			成率目標			3,640 万 3,	cus 万		-							-	本市の特色である「世界	遺	
	17 提	界遺産関連連 事業	がら、世界 北カ州市の	がら、世界遺産を含む北九州市の取組みを効果的に発信できるツー	北九州都市圏域内	3, 640万人 (H28年度)				5, 640 人 5,	人 人	3,658万人 (H31年 度)	_	_	12, 600	_	10, 950	係 0). 30 人	_	産」「ものづくり」「環境などの取組みを関連付け、しみながら野ぶにとのだる	÷る∣	
	携	╆兼	課	果的に発信できるツールの開発や機会を増やし、幅広い世代・地域の来訪者を呼び込む。	への観光各数	(П20年度)	達成					度)			,			技			ツールの開発や機会を増やし、学校現場での活用や、 国からの来訪者受入れを仮	外 !	
							国標			177 万 1	178 万		-							-	す。		
					北九州都市圏域内 の宿泊者数	177万人 (H28年 度)	実績					178.6万人 (H31年度)						職 0). 60 人				
							達成率																
					留学生と地元企業の相互理解		目標	上 単年 設定	度目標	単年度目 標設定な 3 し	5.0 %							課 0). 20 人				
IV-3−	-3-		留学生等の国際ブリッジ人材の受入(入学) 促進 学業・生活支援	田子生寺高度入州沿州 の向上(企業との相互 理解が進んだ状態=留 学生が市内企業の情報	_	実 績 29.	7 %	_			35.0% (H31年 度)						長	7. 20		 「北九州市留学生支援ネートワーク」において、講師	・ツ i招		
(1)-② 地域企業 のニーズ	10 国	際ブリッジ人	国際政策	及び地元企業就職促進を体系的、効果的に推進する「プラットホー	を4社以上知っている)		達 成 — 率	%	_				継続	900	5, 712	増額	7, 550	係). 30 人	順調	トワーク」において、講師時による先進事例の紹介や会員間の意見交換等を行い)、 	地元企業の情報提供や交流 会の開催などを通じ、さらに
に沿った 人材育 成・確保	│'0 材	支援事業	課	留学生の受験を受ける。 留学生のの実定を受ける。 のののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののではは、 ののではは、 ののではは、 ののではは、 ののではは、 ののではは、 のの			目 =-	ぐ把握		ニーズ : 把握	ニーズ 把握		1 科全市冗	900	0,712	百 付	7, 550	長 0	·. 30 人	川以间	知識の向上や会員間の事業には、一番の方式の一点では、一番の方式の一点では、一番の方式の一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、	進	地元企業との相互理解を推進する。
の促進				地域のクローバル化や 地域企業の国際競争力 アップを図る。	留学生に対する就職支援施策に係る ニーズの把握	_	実 =-	ぐ把握 ・	_			_						職しの). 30 人		するための座談会等、新規 組を進めていく。	2月以	
							達 成 — 率	%	_									員 0 	1.30 人				

					(Plar	n】 計画 /	/ [Do) 実	施									4		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要			の成果指標()	目標・実績)		I	I	成果の		H29年度	事業費	人件套		安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施策名		主な事業・収組	所管課名	F.A. 10,100,50	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	職 位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
						目標	_	_	_	_							課長	3.00 人		平成28年2月に策定した 「北九州市公共施設マネジメント実行計画」の進捗状況を 的確に把握し、評価を行いな がら進めていくなどの実行性 の確保に努める。		
V-3- (2)-② 公共施設 の転活用 などの検 討	19	公共施設マネジ メント推進事業	都マジン政課市ネメト策	「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、公共施設に関する 将来的な財政負担を軽減するための取り組み を進める。	公共施設保有量の 縮減	全公共施設 (H 2 6 年 度)	_	_			24. 2%削減 (H67年 度)	継続	12,000	36, 000	増額	104, 500	係長	1.00 人		また、受益と負担のあり方の視点から、公の施設の使用料等の見直しを行う。 モデルプロジェクト再配置計画の推進を図るため、複合	順調	計画の推進にあたっては、 市民説明や市民意見の把握に 努めるとともに、モデルプロ ジェクトに関しては、再配置 計画の実現に向けた検討・調 整等を進めていく。
						達成率	l –	_									職員	1.00 人		公共施設の集約先の選定と事業手法の検討、市民や利用者を対象とした説明・意見交換会の開催、モデルプロジェクト推進懇話会の開催等を実施する。		
				ユネスコ世界遺産に登 録された官営八幡製鐵		標 		登録			登録 (H27年 度)						課長). 30 人		資産の価値を継承していく と共に、来訪者の満足度を上 ば、観光資源としての付加価		
	20	世界遺産推進事	世界遺産	所関連施設について、その価値の理解増進の		達 成 率	_	_				→継続	41, 000	26, 200	減額	10, 950	係し) 30 人	大変	げ、観光資源としての付加価値を向上させる。また、登界 2周年を迎えることによる来 訪者数の低下が懸念されるため、新たな話題づくりで		
	20	業	課	所関連施値の理解では では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	旧本事務所眺望スペースの来場者数	目標 実績 達成率		3万 人 5万 人 166.7 %		5万 人	20万人 (H28~ 31年 度)	<u> </u>	41,000	20, 200	沙头石具	10, 330	Date .). 60 人	順調	訪者数の低下が懸念されるため、新たな話題づくりやリピーターを生む仕組みづくりに取り組む。		
			## ##	国や関係自治体、所有		目標			調査の実施	診断の実施	保全計画						課長). 30 人		国や所有者等等と連携し、 建物調査・耐震診断をもと		
V-3- (2)-③ 近代化遺		世界遺産登録資産保全活用事業	世界 遺産 課	者等との連携のもと、 遺産価値の保全につと める。	登録資産の保全	現状把握のための調査継続産業			_		策定 (H29年 度)	_	34, 000	8, 100	減額	10, 950	Très .). 30 人		に、保全計画の策定を行う。 また、ユネスコに報告 (H29.12月) するため、保全 等進捗状況報告を作成する。	大変	構成資産の保全を行ってい くと共に、関係機関と連携し てインタープリテーション
近代な財の (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年で) (近年) (近年) (近年) (近年) (近年) (近年) (近年) (近年					旧本事務所眺望スペースの来場者数	平 目標 実績 達成率			3万 人	5万 人	20万人 (H28~31 年度)						===). 30 人			」順調	(理解増進・情報発信)の取 組みを推進していく。
	22	世界遺産関連連 携事業	世界遺産課	本市の特色を活かしながら、世界遺組ををきませる。 北九州市の取取きをを効果的に発信できる効果の開発や機会を増し、幅広い世代・地域の来訪者を呼び込む。		3, 640万人 (H28年度) 養 達成率			3,640 万人	3,645 万人	3, 658万人 (H31年 度)	_	_	12, 600	_	10, 950	係長). 30 人	_	本市の特色である「世界遺産」「ものづくり」「環境」などの取組みを関連付け、きしみながら学ぶことのできるツールの開発や機会を増や、学校現場での活用や、外国からの来訪者受入れを促す。		
					北九州都市圏域内 の宿泊者数	177万人 (H28年 度) 達成率			177 万人	178 万人	178.6万人 (H31年度)						職員). 60 人				

企画調					(Plan	】計画/	/ [D	o】 実	施									4		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号	No	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の	の成果指標(目標・実績)				成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件	費 (目:	安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO.	主な事業・取組	所管課名	争来・収祉恢安	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
				平成16年11月に、日中韓10都市により「東アジア経済交流推進機構」を設立(現在11都	会員都市間ネットワークの活用による共のプロジェク	4 件 (H26年 度)	4 件	4 44 - 4 44		牛 4 件	■ 4件以上 (H29年 度)						課長	0. 20 人				
VII-1- (1)-① 「東アジ ア経済機	23	東アジア経済交流推進機構推進		構」を設立(現在11都市)。 「国際ビジネス」、「環境」、「観光」、「ロジスティクス」の4部会を設けて経済交流活動を行っている。		達	100. 0 %	100.0 %	6			→ 継続	9, 680	8, 080	減額	11, 050	係長	0.50 人	順調	より一層の経済交流に繋げるため、会員都市に所在する 企業の参加を促すべく、共同 プロジェクトや商談会、技術	順調	東アジア経済交流推進機構 の会員都市間ネットワークを 通じた経済交流活動を今後も 推進していく。
流推進機 構」事業 の推進		事業	ル 味	本市は、本機構の事務局を構成し、機構活動の円滑化と活性化に貢献するとともに、本市		標	5 件	5 件	: 5 f	牛 5 件	21件									交流セミナーなどの開催に努める。		推進していく。
				企業の国際ビジネス拡大に資する活動を実施する。	東アジア経済交流 推進機構における 会議数		5 件	5 件			(H27~ 31年 度)						職員	0.50 人				
						達成率	100.0 %	100.0 %														
				姉妹・友好都市を中心とした海外諸都市との	L+ L+ + L7 100 -+ -t	目 標	330 人	. 330 人	330	人 330 人							課 長	0.30 人		姉妹・友好都市との着実な		
	24	国際交流事業	アジ ア交 流課	姉妹・友好都市を中心の とした海外諸の大語の 様々な分野の、訪問団 の受入れや本市交流 調団の受入れや本の 訪問団派遣等の 業を行う。	姉妹・友好都市を 中心とした海外諸 都市との交流事業 参加者延べ人数	343人 (H26年 度)	343 人	. 417 人			330人以上 (H29年 度)	継続	4, 339	5, 265	増額	14, 950	長	0.40 人	順調	交流を進めるとともに、環境 技術等を軸とした海外諸都市 との交流・連携の推進に取り 組む。		
				未で打り。		達成率	103.9 %	126.4 %	6								職員	1.00 人			_	
VII-1-						目 標	100 人	. 110 A	. 110 ,	人 110 人							課長	0.18 人		ベトナム・ハイフォン市と		姉妹・友好都市、アセアン
(1)-② 都市間交 流・連携 の推進	25	アジアゲート ウェイ推進事業	アジ ア交 流課	アセアン諸国などアジアの新興国との経済交流やシティプロモーションを進める。	アセアン諸国などアジアの新興国との交流事業参加者延べ人数	135人 (H26年 度) —	135 人	. 171 人			110人以上 (H29年 度)	継続	1, 962	3, 554	維持	8, 820	係 長	0.30 人	順調	の交流が大して の交流が大して で流拡大に、アセとの 図るととすりである。 でで流している。 でで流している。 でで流している。 でで流している。 でで流している。 でで流している。 でで流している。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	順調	姉妹・友好都市、アセアン 諸国等のアジア新興国との交 流・連携を一層強化してい く。
						達成率	135.0 %	155.5 %									職員	0.50 人				
	26	ASEAN新都市間連 携促進事業	アジ交課	発展著しいて、都性 地連・ジア・では、 を はにおいて、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	カンボジア及びア セアン新規交流都 市との交流事業参 加者延べ人数	日標 実績			20	人 20 人	20人以上 (H29年 度)	_	3,000	3, 000	維持	7, 955		0.17 人	_	①カンボジア・プノンペン都と具体的な交流内容について協議・実施するため、訪問団の派遣・受入を行う。		
				とともに、その他の都 市との新規交流可能性 を検討する。	NH '日 X生'、 丶八 XX	達成率											職員	0.40 人		②ASEAN諸都市と本市との交 流可能性を検討する。		

					(Plan	】計画/	/ [Do) 実	施											【Check】 評価	/ [/	Action】改善
****		*************************************	A			事業評価の	の成果指標()	目標・実績)				成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件費] (目安	₹)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	1900年年1-中山大沙北、日本1-1-中京
施策番号 施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	五安事業 所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
				【施策の内容】		目標	_	_	_	_							課長	— 人				
W-1- (2)-2 文化・ス ポーツ交 流の拡大	27	【施策評価のみ】 文化や芸術、スポーツを通じた 国際交流の推進	アジ ア交 流課	り、多くの市民と外国 の方々が触れ合える環 境を整え、異文化への	_		_	_			_	_	_	_	_	_	係長	- 人	_	_	順調	引き続き、文化・スポーツ 両面での国際交流を進めてい く。
				理解促進を図る。		達成率	_	_									職員	- 人				
					海外事務所の本市 地域企業への貢献 度 (貢献度70% 以上)	85% (H26年 度)		70 % 85.8 %		70 %	70%以上 (H26年度 ~)						課 0	.05 人				
WI-2- (2)-② 海外の経 済事務所	28	中国ビジネスサポート拠点整備	アジア交響	ジネスサポートや進出	※26年度からの指標	達	121.4 %	122. 6 %	5		·	→継続	61, 453	56, 953	減額	3, 075	係 6	. 10 人	順調	現地政府、企業等とのネットワークを活用し、中国市場のニーズと地域企業が適確な	順調	地元企業の中国進出支援や ビジネスサポートのほか中国 各都市とのネットワーク形成
済事務所の活用		事業	流課	支援を行うとともに、 本市と中国の都市との ネットワークを形成・ 強化する。	海外事務所を利用した企業数	目標 実績		300 社		: 300 社	380社 (H31年									マッチングによるビジネス支援を行う。		を一層強化していく。
					した正来奴	達成率	124.7 %	129. 3 %	5		度)						職 0	. 20 人				
				「多文化を受け入れ、 世界に開かれた魅力あ る地域づくりと人づく り」というビジョンの		目 標	45 %	50 %	5 50 %	50 %							課長	0.05 人		引き続き、市民講座等で多 文化共生についての啓発事業 を行い、市民意識の向上を図		
	29	(公財) 北九州 国際交流協会補 助金	国際 政策 課	ともに、幅広い市民に よる国際交流活動を促 進して諸外国との相互	生」という言葉の 認知度	43% (H25年 度) 実績	43.8 %	43.8 %	5		50%以上 (H27年度 ~)	継続	49, 450	48, 489	維持	2, 325	係長	0. 10 人	順調	る。また、多文化共生に関する民間団体の活動等を支援することで、意識啓発を行っていく。また、国際交流員を市民センターや学校、イベント		
VII-2- (3)-② 国際都市				理解や友好親善を深め、国際平和に寄与する開かれたまちづくりを推進する。		達成率	97.3 %	87.6 %	5								職員	0. 10 人		等に派遣し異文化への理解促進に努める。		多文化共生のまちづくりを一層推進するため改発事業の
国际がされ しづくり				日本人市民に対して、 多文化共生に関する意 識啓発や国際交流の機		目標	45 %	50 %	50 %	50 %							課 0	. 10 人		引き続き、市民講座等で多	順調	ー層推進するため啓発事業の 実施や民間団体の支援等によ り啓発活動を推めていく。
	30	多文化共生推進 事業	国際政策課	日多識会とれず市してるのうけ目でられず、意機こ入指の大性を見にに際でを必ずして、しているのがであるというであるというであるというであるというであるというであるというであるというである。 意機こ入指の はかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	市民の「多文化共 生」という言葉の 認知度	43% (H25年 度) 実績	43.8 %	43.8 %	is a		50%以上 (H27年度 ~)	継続	4, 646	4, 413	維持	5, 650	係 長 0	.30 人	順調	文化共生についての啓発事業を行い、市民意識の向上を関る。また、多文化共生に関する民間団体の活動等を支援することで、意識啓発を行っていく。		
				できる「多文化共生先 進都市」としてのまち づくりを推進する。		達成率	97.3 %	87.6 %	6								職 0	. 20 人				

企画調	登月	<u> </u>			[Plan	n】 計画	/ [Do	o】 実f	瓶									4		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
					•		が の成果指標(H28年度	H29年度		人件	費(目	3安)	H27年度		H27年度	
施策番号 ・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)			H28年度	H29年度	中期目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	事業費の増減	金額	職位	人数	事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						目材		16 市	16 市		16市町 と連携											
				市圏構想 に基づき、	近隣市町との連携 協約の締結数	—— 第 —— 第		16 町			と連携 協約の 締結 (H28年 度)						課長	0.20 人				
				人口減少・少子高齢社 会においても地域 を活性化し、経済を持 続なった。		万	t =	100.0 %				_										
		新たな広域連携	政策	を に に に に に に に に に も に に も に に も に に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。	「連携中枢都市圏 ビジョン」掲載の					75 %	90%						ΙŒ			福岡県北東部16市町と連携 中枢都市圏「北九州都市圏 域」を形成し、そのビジョン		今後も近隣都市との連携を
	31	推進事業	調整課	ジョン」を策定し、連携中枢都市圏「北九州 都市圏域」を形成する。	事業のうち、事業 を実施した割合 (一部実施含む)	69%			<u>.</u>		(H31 年度)	継続	4, 500	3, 500	減額	13, 300	長	0.80 人	順調	域」を形成し、そのビジョン に沿って事業を推進してい く。	順調	一層強化していく。
				また 下関市との連		万 四	<u> </u>	関門地域経済戦	関門地域経済戦	新たな関門連携												
WI-3- (1)-① 県内周辺			携については、 は、では、 では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	本市と下関市両市の企画部門等で会議を開催し、両市	村	",		略会議における 取組の協議・検 討	新たな関門連携 における取組の 協議・検討													
県内周辺 市町村と の広域連 携				である。	の経済成長に繋が る取り組みについ て協議・検討す	3 	と は は を 実施	本市と下関市市高等で会議を開催し、長につつないで会議を開催し、長につついている。取組みに対は議・検討を実施。			_						韻	0.40 人				
					3 .	瓦耳	t _	-														
	32 北九州都市圏域連携事業				E 核			3,640 万人	万 . 3,645 万 人							課長	0.10 人					
				本市と近隣自治体(福	北九州都市圏域内への観光客数	3,640万人 月 (H28年度) 新			4		3,658万人 (H31年 度)											
		北九州都市圏域 連携事業	政策 調整 課	岡県北東部の16市		万万百	t E					_	_	22, 500	_	17, 400	係長	0.65 人	_	地方創生推進交付金を活用 して、事業を推進していく。	_	今後も近隣都市との連携を 一層強化していく。
			шж	ディング、プロモーション事業を行う。					177 人	, 178 人												
					北九州都市圏域内 の宿泊者数	177万人 (H28年 度)			4		178.6万人 (H31年度)						職員	1.30 人				
						道 万 五	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\															

企画調整	全 同																				
				[Plan)】 計画	i / [[Do】 実	施			T.								【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号 施策名	No. 基本計画の施策	を構成する 主要事業 取組 所管課名	事業・取組概要		1	評価の成果指標	(目標・実績)				₹果の │		H29年度	事業費		費(目安)		年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施束名	土な手来	収組 所官課名		指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度 H2	9年度	中期 方目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	数	F 業 F 価	(課題Ⅰ〜対する改善力法寺)	局施策 評価	(課題に対する以音力法等)
			本市においては、枢 の進構想」に基本 の選構想」・少 を活性に を活性に を活性に を活性に	Mary 1970 Hall See	_	目標実績達成率	16 南		 協 (市町 連携 約結 128年 度)						課 6.2	20 人				
VII-3- (1)-2	33 新たな広 ^坂 推進事業	達携 政策 調整 課	に に に で に で に で に で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に に の に の に に の に に の に に の に の に に に に の に に に に に に に に に に に に に	「連携中枢都市圏 ビジョン」掲載の 事業のうち、割合 を実施した割合 (一部実施含む)	69%	目標実績達成率		7.	(90% H31 糸 度)	継続	4, 500	3, 500	減額	13, 300	係長 0.8	10 人 顺		福岡県北東部16市町と連携 中枢都市圏「北九州都市圏 域」を形成し、そのビジョン に沿って事業を推進してい く。		
近隣主との連携	② 主要 との	携については、連携で を を を を を を を を を を を を を を を を を を と 、 、 、 、	本市と下関市両市の企画部開業で会	_	any any	戦るる検 関門地域起済経済 検取相の計 本市企画議所の経済 本市企画議所の経済 に、両につながい 位議者 が最初に対象が に、成長紀が、改新化・大変を 施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関門地域経済戦 路会議における 取組の設施・検 「記述	な関門連携 ける歌観の 議・検討	_						職員 0.4	10 人			順調	今後も近隣都市との連携を 一層強化していく。	
	34 関門地域鬼上事業	政調課都マジン政課 策整 市ネメト策	築を図るため、関門「ら	宿泊者数、日帰り 観光客数の増加に 伴う消費の増加額	_	目標実績達成率		832, 400 円 1.872	6, 45	1,100千円 31年度)	_	_	22, 000	_	20, 750	係	50 人 90 人 80 人		今後も下関市との連携を強 化し、関門ブランドの構築を 図る。		
WI-3- (2)-② 九州各地 域を進携	35 広域行政推	進事 政策整 課	【 東車京		_	実績	都市 2 市都市 10 都市 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		26	都市 131年 度)	継続	6, 228	4, 949	減額	3, 075	係長 0.1		調	交流・連携都市数の目的値 は達成し基盤が整ったため、 今後は連携事業を実施するこ とによって、遠方の自治体と も交流を深めていく。	順調	交流・連携都市数の目的値 は達成し基盤が整ったため、 今後は連携事業を実施するこ とによって、遠方の自治体と も交流を深めていく。
			東道全線開通を見据え、 京築地域や大分・宮崎方 面の都市との連携構築に 取り組む。	(東九州軸での活動)	_	達	2 D 200.0 %			_						職 員 0.2	20 人				